

# てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会  
TEL (076) 268-0121  
URL <https://www.tekkokiden.jp>  
題字/名誉会長 中村 健一

## 令和7年度業界振興懇談会(第27回)開催

9月3日(水)金沢東急ホテルにおいて、馳知事、県商工労働部幹部の方々をお招きし、澁谷会長はじめ協会の役員、並びに各地域・業種の代表者61名が一堂に会し、業界振興懇談会を開催しました。

馳知事より石川県政についての講話をいただきました。

なお、懇談会に先立ち、日本銀行金沢支店長 大川真一郎氏を講師にお招きし、「最近の金融経済情勢について」をテーマにご講演をいただきました。



### (澁谷会長挨拶要旨)

先ほど日銀の大川支店長さんからもお話がありましたとおり、色々と世界情勢が変化しております。私自身も、1ヶ月ほど前にアメリカへ実際に行ってききましたが、支店長さんのお話の通り、アメリカ経済は非常に強いというのが第一印象です。

しかしながら、この後、やはり関税への影響も出てくるでしょうし、あるいは物価を見ていくと、数年前には考えられないような物価の上昇率で、それについていけないアメリカの低所得層の方による犯罪、そういったものを肌で感じるような状況でした。

日本もこれからのような影響を受けていくかというのが、先ほどの支店長さんのお話で、非常に参考になった部分がありますので、ぜひ会員の皆様も暑い夏に従来のような過ごし方ではうまくいかないのと同じで、経済も従来と違うのが常識だと考えて、ぜひフレキシブルに色々なケーススタディを各社でやっていただければと感じました。

今日は、馳知事から石川県の復興元年の取組と石川県成長戦略についてお話いただき、私ども協会が取り組んでいる課題についても、石川県と歩調を合わせて課題解決ができればと、感じております。



### (馳知事講話要旨)

馳知事からは、「能登の復旧・復興」と「石川県成長戦略」を二本柱とする県政の取り組みについてご講話をいただきました。今年度を「復興元年」と位置づけ、能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興の進捗状況について、応急仮設住宅整備や道路復旧、被災家屋解体などが順調に進展している旨の説明がありました。

また、米国関税の影響を受ける事業者への支援として、①正確な情報提供、②専門家派遣拡充、③資金繰り支援を柱にした対策を講じ、特に融資制度は、全国トップレベルで対応していることや、最低賃金引上げについては、設備導入等の支援や専門家派遣の拡充に努めるとしました。

石川県成長戦略については、DX推進として、省力化に資するロボット導入のワンストップ支援やGX推進として、いしかわCFP算定モデルを全国初で構築するとともに、人手不足対策については、ロボット導入支援のほか、ベトナムのハイフォン社と連携し、自動車整備士人材を育成・派遣する仕組みを構築し、他業界への横展開も検討していること、加えて「Back to ISHIKAWA/Stay ISHIKAWA」プロジェクトを立ち上げ、学生主体で情報発信やインターンシップを進め、県内就職を後押しするとの説明がありました。

馳知事は最後に、協会は、ものづくり産業の牽引役と県内雇用を確保する重要な職場であり、できる限りバックアップする旨、説明がありました。なお、質疑応答で、澁谷会長から産業展示館の建て替えについて説明を求めたところ、馳知事は、3段階での整備を考えている。順番は、1、産業展示館の建て替え。2、県立野球場の建て替え。3、西部緑地公園全体の配置の見直しと明言されました。

## 【CONTENTS】

令和7年度業界振興懇談会(第27回)開催	1	令和7年度石川県6月・9月補正予算の支援施策	5
澁谷会長挨拶要旨	1	DI調査結果(R7.7-9月期)	6
馳知事講話要旨	1	令和7年度研修スケジュール・協会スケジュール	7
講演会要旨	2	青年部会だより	8
令和8年知事選挙に関し、「協会推薦状」を手交	2	会員情報	8
協会トピックス	3~4	MEX金沢2026キャッチコピー・ポスター	8
(別紙)延払による機械設備貸与制度のご案内		出展料金の改定	8

回									
覧									

## (講演会要旨)

講師：日本銀行金沢支店長 大川 真一郎 氏

演題：最近の金融経済情勢について

### 世界経済の動向

IMFによると、2025年の世界経済成長率は、トランプ関税発表時の4月時点では2.8%と景気減速が懸念されていましたが、その後、各国間で相互関税の調整が進んだことで、3.0%へ上方修正されています。現在の世界経済では、コロナ禍やリーマンショック時のような深刻な景気後退には陥らないとの見方が優勢です。



### トランプ関税の影響

当初、アナリストやエコノミストの間では、関税増額分は最終的に米国の消費者が負担し、その結果、米国経済ひいては世界経済が減速するとの見方が有力視されていました。しかし、米国の消費者だけでなく、輸入業者や輸出業者もそれぞれ関税負担の一部を担うことで経済への影響は低減されるのではないかと見ています。

北陸の製造業における関税負担割合別の経常利益下押し幅を試算すると、例えば、全額負担の場合には前年比11.9%減が見込まれる一方、1/3負担であれば5.5%減に抑制される見通しです。

また、米国経済は、関税による歳入増の再配分、トランプ政権による規制緩和、および他国からの投資によって、堅調さを維持する可能性もあります。

### 日本経済の現状

日本経済は緩やかながらも着実に成長を続けており、2025年度の成長率は0.6%と見込まれています。

### 北陸経済の特徴

消費、公共投資、住宅投資といった非製造業分野では、全国と比べて比較的良好な状況にあります。製造業は国際競争に晒され、収益面での厳しさが継続するものの、米国経済が想定ほど悪化しない限り、巷間で懸念されるほどの負の影響は生じない可能性も視野に入れていきます。

## 令和8年知事選挙に関して馳知事に「協会推薦状」を手交

令和7年9月17日(水)、澁谷会長、中村名誉会長ほか副会長3名が、来る知事選挙に関して次の推薦状を手交しました。

「石川県成長戦略の実現と能登の創造的復興に邁進し、鉄工機電業界の振興発展にも尽力された貴殿が、来る知事選挙において再び立候補の意向を表明されたことは大きな喜びであります。ここに石川県鉄工機電協会は、貴殿を知事候補者として最適任であることを認め、推薦いたします」



※「馳浩鉄工機電業界後援会」の発足

令和7年6月23日に開催した通常総会において、満場の一致をもちまして決定をし、石川県選挙管理委員会に政治団体設立届を提出しております。

## 第12回タイ・AECビジネス促進部会の開催

開催日：令和7年6月17日（火）

平成30年2月に発足した、東南アジアに進出している会員企業の情報交換部会『タイ・AECビジネス促進部会』（参加企業全26社：タイ21社、ベトナム3社、インドネシア1社、ラオス1社）にて、工場見学会を実施しました。

ワイヤー放電加工機、射出成形機製造販売のSodick (Thailand) Co.,Ltd. (1988年設立) と精密金型加工のAMG (Thailand) Co.,Ltd. (2018年設立) の会員企業2社のタイ工場を訪問しました。日本同様、人口減少に入っているタイにおいても人材の確保が課題となっているとのことでした。



また、Manufacturing Expo 2025の見学を行いました。Manufacturing Expo 2025は、BITEC（バンコク国際展示場）で開催されている2大工業見本市のひとつで、7つのイベント（InterPlas Thailand、InterMold Thailand、Automotive Manufacturing、Surface&Coatings、Assembly & Automation、Nepcon Thailand、FACTECH）で構成されるプラスチック、金型、自動車製造、表面処理、組み立て&自動化、検査装置、工場設備関連機器等の集合展示会です。会員企業では、Sodick (Thailand) Co.,Ltd. Thai Enuma Co.,Ltd. UHT株式会社（現地代理店DEEPORN CHAREON社）の3社が出展されていました。来場者数は4日間で88,445名でした。



## デジタル化推進委員会視察会 報告

視察日：令和7年7月30日（水）～8月1日（金）  
 視察先：NEC北海道データセンター、シンセメック（株）  
 参加者：11名

NEC北海道データセンターは、海拔約100mの高台に位置し、洪水や津波、液状化のリスクが極めて低い場所であり、台風や雷の発生も全国的に少ない地域に設置されました。電源設備は異なる変電所からの2系統受電に加え、無給油で72時間連続運転が可能な非常用発電機を設置しており、北海道胆振東部地震の際は17時間停電であったが、問題なく対応できたとの事でした。

シンセメック（株）は、切削加工企業として創業しましたが、現在は自社一貫生産体制を強みとする、自動省力化装置メーカーへと転身し、コストを抑えつつ、迅速かつ高品質な製品を提供する企業です。中でも、「かぼちゃ乱切り装置」は世界に1台しかない装置で「ものづくり日本大賞 優秀賞」を受賞されるなど、高い評価を得られています。



## 第2回正副会長・委員長会議

開催日：令和7年9月3日（水）

場 所：金沢東急ホテル

参加者：15名

第2回会議が澁谷会長、副会長3名、委員長8名参加のもと開催されました。

冒頭、アメリカ関税に関するアンケート結果について専務より説明があり、引き続き会長が座長となり、MEX金沢の開催経費高騰に伴う、出展料の見直しについて、参加者よりご意見を頂きました。

「上げ幅」「会員企業・一般企業別の料金設定」「他の展示会との比較による相場観」「入場者数と出展料の見合い」等様々な観点からのご発言があり、更なる出展料のシミュレーションを作成、検討し、翌週開催される見本市委員会（9月9日開催）で審議のうえ、決定することとなりました。



## 新分野・環境講演会

開催日：令和7年9月4日（木）

参加者：30名

テーマ：事業経営におけるGX/DXの意義と「いしかわCFP算定モデル事業」

講 師：一般社団法人グリーンCPS協議会 理事長・東京都市大学大学院 教授 中村 昌弘氏

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、製品の原材料調達から製造、廃棄までの間に発生する温室効果ガスの総排出量「CFP（製品カーボンフットプリント）」を可視化し、削減していく事が求められています。環境対応は単なるコストと捉えるのではなく、競争力を得る戦略として経営観点で捉え、先行者としてブランディングしていく事がこれから選ばれる企業になっていくとの事でした。また、併せて今年度石川県が取組む「いしかわCFP算定モデル事業」についてもご紹介をいただきました。



## デジタル化講演会

開催日：令和7年9月9日（火）

参加者：32名

テーマ：「NECが考えるデジタルツインによる現場変革」

～ファクトドリブンマネジメントへの変革に向けて～

講 師：日本電気株式会社

プラットフォームテクノロジーサービスビジネス部門

主席プロフェッショナル 中村 公弘氏



講演会では、講師である中村氏が、NECが長年培ってきた映像AIと最先端のデジタルテクノロジーでこれまで捉えきれなかった、ひと・ものの動きや流れ、現場で起きていることをデジタル空間に高精細に再現すること。また現場のファクトに基づいた「ファクトドリブンマネジメント」に変革、企業・現場のポテンシャルを最大限に引き出すためには、についてお話いただきました。スポーツ界でのデジタルテクノロジーの活用事例や製造現場での活用事例なども分かりやすくご講演をいただきました。

質疑応答では、「製造現場で、映像AIを活用した作業時間の可視化による従業員への影響はないか」との問いに対して、「映像AIの活用と非付加価値作業を可視化することで作業効率に無駄がないか企業側が知ることは必要要素、だがそれを監視目的で使用するわけではないことについて、従業員と企業の合意形成が必要不可欠」との回答があるなど、大変有意義な80分となりました。

# 令和7年度石川県6月・9月補正予算の支援施策 【主な事業の紹介】

## 米国関税の影響を受ける事業者への支援 (6月補正予算)

① 経営支援	② 資金繰り支援
<p>○ <b>専門家派遣制度の拡充</b> (1,000万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 関税の影響を受ける企業への派遣回数の上限撤廃</li> <li>✓ 派遣枠300回分の追加</li> </ul> <p>&lt;問い合わせ先：県経営支援課 (076-225-1525) &gt;</p>	<p>○ <b>経営安定支援融資に「米国関税対応分」の特別メニューを創設</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全国トップレベル</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 貸出要件の緩和           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年1か月比の売上等の減少幅：▲5% → ▲3%</li> <li>○ 「資金繰りに支障をきたすおそれがある者」を対象に追加</li> </ul> </li> <li>✓ 融資期間の延長：7年(据置2年) → <b>10年(据置3年)</b></li> <li>✓ 利率(保証付き)の引き下げ：1.50% → <b>1.25%</b></li> <li>✓ 融資枠の追加：<b>50億円</b></li> </ul> <p>&lt;問い合わせ先：県経営支援課 (076-225-1522) &gt;</p>

## 人手不足対策の強化 (9月補正予算)

① 省力化 (ロボット導入支援)	② 人材確保対策 (外国人材の確保・定着)
<p>6月から「デジタル活用ものづくり支援センター」において、<b>ロボット導入のワンストップ支援</b>を実施</p> <p>➔ <b>企業からの支援ニーズへの対応</b></p> <p>○ <b>ロボットアドバイザーの派遣枠拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 10社 → 20社 (400万円)</li> </ul> <p>○ <b>本格導入前のトライアル実証への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国補助金を活用した本格導入を後押し (1,000万円) 補助上限：100万円 (補助率：2/3)</li> </ul> <p>&lt;問い合わせ先：県産業政策課 (076-225-1519) &gt;</p>	<p>5月に締結した県自動車販売店協会・ハイフォン社(ベトナム)・県の<b>連携協定に基づく取り組みが順調</b> (8月から7名の受入を開始)</p> <p>➔ <b>他業界からも高い関心が寄せられ、横展開を期待</b></p> <p>○ <b>外国人材の確保・定着の促進に向けた研究会</b> (100万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 業界団体等の理解促進とニーズの把握</li> </ul> <p>○ <b>連携候補先の選定に向けた基礎調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ アジア圏(東南・南・中央アジア)を想定 (250万円)</li> </ul> <p>&lt;問い合わせ先：県労働企画課 (076-225-1672) &gt;</p>

## 最低賃金の引き上げへの対策 (9月補正予算)

① 賃上げ環境整備への支援	② 被災事業者に対する緊急支援
<p>○ <b>設備導入等への支援(ハード)</b> (5,500万円) ※当初予算で計上 (国助成金への県独自の上乗せ)</p> <p>業務改善助成金(国) 最大600万円 + 県独自の上乗せ補助 最大100万円</p> <p>○ <b>業務効率化等への支援(ソフト)</b> (6.6億円) (県独自の補助制度の創設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ITシステムの導入、従業員のスキルアップ研修 等</li> </ul> <p><b>最大 100万円</b> (手厚く補助) (補助率 小規模事業者：4/5、中小企業：3/4)</p> <p>&lt;問い合わせ先：県労働企画課 (076-225-1531) &gt;</p>	<p>○ <b>賃上げへの直接支援</b> (3.8億円)</p> <p>対象企業：最賃近傍(+50円以内)の労働者を雇用する被災小規模事業者</p> <p>賃上げ人数に応じて <b>5万円/人 最大 50万円</b> (10人まで)</p> <p>&lt;問い合わせ先：県労働企画課 (076-225-1531) &gt;</p>
	③ 伴走支援体制の強化
	<p>○ <b>専門家派遣制度の拡充</b> (1,000万円)</p> <p>各種補助制度の活用や賃上げ環境整備を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 派遣枠300回分の追加</li> <li>✓ 賃上げに取り組む事業者は回数上限を撤廃</li> </ul> <p>&lt;問い合わせ先：県経営支援課 (076-225-1672) &gt;</p>

### 【専門家派遣制度の利用事例】

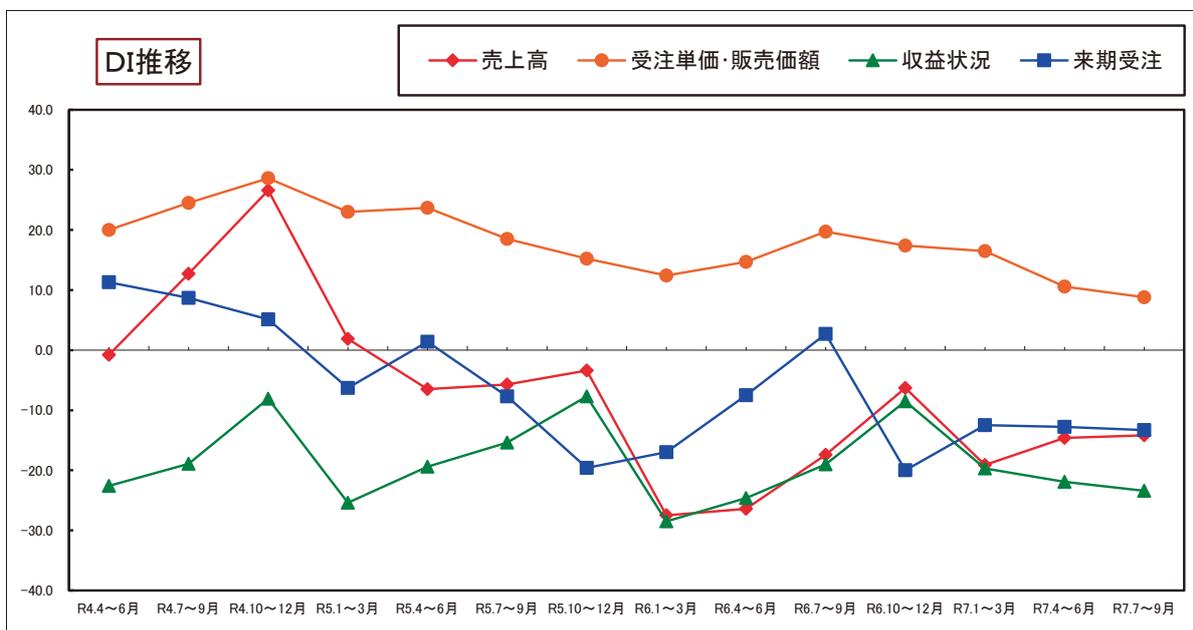
令和6年能登半島地震により被害を受けた能美市のタケダ精機(株)は、専門家派遣制度を利用しデジタルアドバイザーの派遣を受けています(9月24日時点で9回実施)。タケダ精機(株)は「DX化に向けて、デジタルアドバイザーの支援をいただき方向性が明確になってきた」とのことでした。

## DI調査結果 (令和7年7月-9月期)

概況総括：『景況感は依然として低迷しており、停滞が続いている。』

米国の関税政策による影響など、先行きの見通しが立たず不安感がある』

1. 今期 (令和7年7月-9月期) の業況調査DI12項目では、「受注単価販売価格」など3項目がプラス、「売上高」など9項目がマイナスとなり、6項目が改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
  - (1) 景況感を端的に表す「売上高」は、▲14.2 (前回▲14.6) と若干改善したものの横ばいでマイナス圏での推移となっている。また高騰が続いている「原材料価格」も▲29.0 (前回▲32.1) と改善したもののマイナス圏での推移、「収益状況」は▲23.4 (前回▲21.9) と悪化しており、原材料価格や人件費の高騰が進み、停滞感が続く厳しい状況が窺える。
  - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲8.8 (前回▲14.4) と改善しているものの、依然として停滞感が窺える。「受注残」1.9 (前回▲1.9) とプラスに転じたが、「生産設備」は▲3.1 (前回▲0.4) と過剰となっている。
3. 来期については、「来期受注」▲13.3 (前回▲12.8) と少し減少した。それに伴い「来期採算」▲17.0 (前回▲16.9) と減少、「来期資金繰」は▲8.1 (前回▲12.8) と改善しているものの、いずれもマイナス圏にあり、先行きについては見通しがたっていない。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が37.3 (前回41.2) と引き続きトップとなった。「人材不足」も30.0 (前回31.3) と依然として高く、自動化や省人化の取組みが急がれる。
5. 景況感は海外経済減速等の影響により依然として停滞が続いている。原材料費や人件費の高騰、長引くロシア・ウクライナ問題とともに、米国の関税政策による、欧米や中国経済への影響など、様子見の状態が続いていると思われる。先行きについても関税合意により受注回復が期待されるが、依然として不透明であり、不安感が拭えない。



## 令和7年度 研修スケジュール

※ホームページからお申込みできます。 <https://www.tekkokiden.jp/events/school/>



### 【きでんスクール】

開催日(予定)	テーマ(1日コース)	受講料	定員
11月7日(金)	組織活性化のための「報・連・相」	3,000	30
11月21日(金)	コミュニケーションスキルUP講座	3,000	30
12月5日(金)	なぜなぜ分析で品質改善	3,000	30
12月19日(金)	分かりやすい原価管理の基礎	3,000	30
2月13日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう!	3,000	30
2月27日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3月13日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

開催日(予定)	テーマ(2日間コース)	受講料	定員
10月9日(木)～10日(金)	新 製造業におけるコストダウン実践法	5,000	10
10月23日(木)～24日(金)	ISO14001内部環境監査員養成講座	15,000	30
1月20日(火)～21日(水)	新 標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理	5,000	12
1月22日(木)～23日(金)	新 製造現場改善のIE活用技術	5,000	12

### 【技能継承スクール】

開催日(予定)	テーマ	受講料	定員
10月1日(水)～3日(金)	PLC制御の回路技術	4,500	10
10月22日(水)～24日(金)	PLC制御の回路技術	4,500	10
11月5日(水)～6日(木)	精密測定技術(計測器管理技術編)	4,000	6
11月11日(火)～12日(水)	新 オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発(Python編)	4,500	10
11月12日(水)～13日(木)	精密測定技術(歯車・三針法などの特殊測定)	3,000	12
12月2日(火)～5日(金)	フライス盤加工技術	8,000	8
12月3日(水)～5日(金)	工具研削実践技術(ドリル研削)	5,500	6

## 令和7年度 協会スケジュール

開催日(予定)	内 容
<b>会 議</b>	
10月2日(木)	総務企画委員会
11月26日(水)	広報・情報委員会
1月20日(火)	見本市委員会
1月29日(木)	令和7年度第2回理事会
<b>行 事</b>	
10月9日(木)～10日(金)	MOT先進工場見学会(香川県)
10月15日(水)～16日(木)	広報・情報委員会視察会(東京都)
10月29日(水)～30日(木)	先進地企業視察会(埼玉県)
11月5日(水)	新分野・環境講演会
11月5日(水)～7日(金)	VIMF 2025 出展(ベトナム・バクニン)
11月17日(月)	第61回従業員功労者・永年勤続者表彰式
11月19日(水)～21日(金)	SI基礎講座
11月26日(水)～27日(木)	産業用ロボット特別安全教育研修
11月27日(木)	高校教員(進路指導)工場見学会・意見交換会[能登地区]
12月1日(月)～7日(日)	海外経済視察(インドネシア)
12月2日(火)	野々市明倫高校工場見学
12月3日(水)	高校教員(進路指導)工場見学会・意見交換会[加賀地区]
12月4日(木)	高校教員(進路指導)工場見学会・意見交換会[金沢地区]
12月5日(金)	工業系高校教員工場見学会
1月29日(木)	令和8年新年会員懇親会
2月10日(火)	MEX金沢2026出展者説明会
2月17日(火)	工業系高校優良卒業生表彰式
2月25日(水)～27日(金)	新分野・環境委員会視察(沖縄県)

## 研修会

開催日：令和7年8月27日（水）

場 所：コワーキングスクエア金沢香林坊

参加者：27名

テーマ：青年部会だけの研修会

～知ればもっと面白い、青年部の仲間達～

今回は岡田会計幹事と小池田幹事の持ち込み企画で、外部講師を呼ばず青年部会だけの研修会を行いました。前半は、山田代表幹事から「PR戦略」について、山本直前代表幹事から「人事評価」についてお話しいただきました。後半では、事前に作成した資料をもとに各社の強みや課題を共有、発表するグループワークを行いました。



## i 会員情報

令和7年9月12日までにお寄せ頂いた内容を掲載しています。

### ◆代表者の変更

会社名	新代表者	会社名	新代表者
オリエンタルチエン工業(株)	杉山 敏之	(株)馬場鐵工所	馬場 晶宏
キタサキ工業(株)	北崎 隆雄	フジタ技研(株)	坂東 達也
大機鋼業(株)	喜多 和真	(株)ミモト	池田 賢治
(株)鶴来精密	橋本成一郎	UHT(株)	上河原正仁
日車物流(株)	川幡 佳彦		

### ◆社名変更

新社名	旧社名
FJUTプラス(株)	FUJITSU UT(株)

### ◆住所変更

会社名	新住所	TEL/FAX
(株)朝日電機製作所	白山市旭工業団地北部地区土地区画整理事業施工地区内1街区3番（略称：白山市旭工業団地北部地区1街区3番）	076-274-2525/076-274-1333
(株)キョーワコーティング	白山市竹松町1060番地	076-274-6665/076-274-6920

## MEX金沢2026（第62回機械工業見本市金沢）

会 期：令和8年5月14日（木）～16日（土）

会 場：石川県産業展示館（1・3・4号館）

### 《キャッチコピー》

「心躍るテクノロジー 未来がここから動き出す」

作 者：矢田 広幸氏（津田駒工業(株)）

応募総数232点から決定いたしました。

### 《出展料金の改定》

MEX金沢開催経費高騰に伴う出展料金の見直しについて、正副会長・委員長会議での意見を踏まえ、見本市委員会において改定することとなりました。これは1985年（第23回展）以来40年ぶりの改定となります。

### 改定後の出展料金

○主催者会員：1小間	143,000円（税込）	（旧料金 132,000円（税込））
○国内・国外一般：1小間	154,000円（税込）	（旧料金 132,000円（税込））

